

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 田代 昇三 ◆副所長 古賀 直樹
◆副所長 呂 俐 ◆主任 劉 振傑
田代 e-mail : yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

鳥インフルエンザ感染拡大懸念広がる

2013年4月18日時点で中国内においてH7N9に感染したと確定された患者は87人にのぼり、このうち17人が死亡。患者は、安徽省で3人（うち1人が死亡）、河南省で3人（死亡者なし）、江蘇省で21人（うち3人が死亡）、浙江省で27人（うち2人が死亡）、北京市で1人（死亡者なし）、上海市で32人（うち11人が死亡）。

（中国疾病予防控制中心HPより抜粋）

この話題も日本で連日報道されていますが、鳥インフルエンザに関する報道は大連においても新聞、テレビ等で頻繁に目にします。これまでのところ大連市において鳥インフルエンザ感染症例は報告されていません。しかし、中国では4月29日～5月1日は中国全土で労働節という休暇に入るため、中国国内で人の移動が活発になることから感染予防の注意が呼びかけられています。

現状では渡航や貿易の制限は推奨されないとされていますが、当事務所としても今後の動向に注意をしております。

続報 日本でも話題のPM2.5 中国で大気汚染続く

環境保護省はこのほど、重点的な抑制区域にある火力発電、鉄鋼、石油化学、セメント、非鉄金属、化学工業などの6つ業界、及び石炭ボイラーを据え付けた企業に対して、大気汚染物特別排出制限を実施することを発表しました。

（大連天健ネットより抜粋）

連日日本でも報道されすっかりお馴染みの中国大気汚染問題ですが、発生源と言われる中国でも関心が高まっており、中国各地の大気汚染指数を表示するスマートフォン向けアプリやインターネットで公表されるPM2.5の値に注目が集まっています。またそうした民意の高まりを受け中国国内でも上記の様な対応がとられ始めているようです。

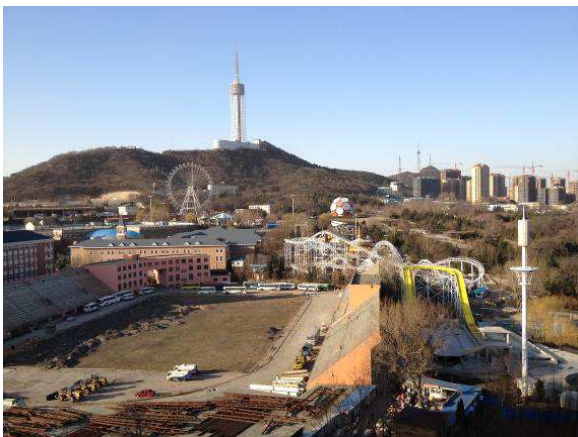
実際に大連でも大気汚染指数の高い日が多く、澄み切った空と澄んだ空気を実感できる日が少なくなっているように感じます。先日の大連の大気汚染指数が363。朝目が覚めると窓の外は一面の靄に覆われ、何とも外出する気を無くすような景色が広がっていました。この大気汚染指数363がどの程度については次のページの表を参照下さい。

大気汚染指数 (Air Quality Index)

値の範囲	PM2.5濃度 (米国基準)	PM2.5濃度 (中国基準)	大気汚染状態	健康影響	健康アドバイス
0-50	0-15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0-35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	優	汚染なし	・通常の活動が可能
51-100	15-35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	37-75 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	良	特に敏感な人に対し軽い影響	・特に敏感な人は屋外活動を減少
101-150	36-65 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	75-115 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	軽度汚染	敏感な人は症状が悪化。健康な人にも刺激症状。	・心臓、肺疾患患者、高齢者、子供は長時間または激しい屋外活動を減少
151-200	65-150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	115-150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	中度汚染	敏感な人は更に症状が悪化。健康な人も心臓や呼吸器への影響の可能性がある。	・高リスクの人は長時間又は激しい屋外活動を中止。 ・健康な人は、屋外活動を適宜減少
201-300	150-250 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	150-250 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	重度汚染	心臓病・肺疾患患者は症状が顕著に悪化。抵抗力が低下、健康な人にもすべて症状が出る。	・高リスクの人は屋外活動を中止。 ・健康な人は屋外活動を減少。
301-500	250-500 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	250-500 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	嚴重汚染	健康な人も忍耐力が低下し、強烈的な症状が見られ疾患を早期に発症	・高リスクの人は屋内に留まり、体力消費を避ける。 ・健康な人は屋外活動を中止。

(出典) 在瀋陽日本国総領事館大連出張駐在官事務所主催の大気汚染に関するセミナー資料より

この大気汚染指数 363 が位置するのが赤褐色の嚴重汚染ランクです。日本で環境省が公表している大気汚染濃度とは異なり、大気汚染指数 363 = 大気汚染濃度 363 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ というわけではありません。とはいえ、いずれにしても空気の汚染は深刻なものであると理解していただけたらと思います。



大気汚染指数 38 の日の市内の様子



大気汚染指数 300 超の日の市内 (同地点) の様子

この二つの写真は同じ地点から別の日に市内の公園を撮影したものです。大気汚染の程度が大きく見て取れます。ここ大連においてはこの程度ですが、北京や石家庄といった汚染度の高い地域では、ビルの中から道の反対側の建物が見えなくなる程とのことも聞きます。

この事態を受け、中国政府（環境保護省と国家質量監督検査検疫総局）も動き出しており、火力発電や鉄鋼の分野で特別排出規制が実施されています。また、現在改定中の「大気污染防治法」では大気汚染事故の罰金が上限撤廃される見込みで、汚染物質削減に向けた企業の投資を促進するとともに、企業の社会的責任の向上を目指しています。

自動車業界では、欧州の自動車排ガス基準であるユーロ5に相当する「国5」を年内にも適用する方針を明らかにしています。この基準に適合しない車種については、新規の販売、ナンバープレートの登録が認められない等の可能性があり中国国内のメーカーも対応が迫られています。このナンバープレートの発行については、北京・上海等では既に発行数に制限が設けられています。先日の報道では北京のナンバープレート発行の抽選倍率は80倍であったと報じられました。現在遼寧省では自動車のナンバープレート発行数に制限は無いものの、今後制限が設けられるかも知れません。